

性 能 評 価 申 請 書

一般財団法人 東海技術センター

理事長 平 井 修 司 殿

登記簿と同じ内容で記載してください。
住所、代表者名（特に役職名注意！）

申 請 者

会 社 名 T T C （株）

印

代表者名 取締役社長 東海 太郎

〒
所 在 地 名古屋市名東区猪子石・・・

下記について、建築基準法施行令第20条の7第4項の規定に基づく認定に係る性能評価を、次の通り申請します。申請にあたっては、一般財団法人 東海技術センター性能評価業務規程及び同性能評価業務約款を遵守します。また、この申請書及び添付図書の記載事項は、事実と相違ありません。

記

件 名	フローリングのホルムアルデヒド性能評価申請		
商 品 名			
連 絡 先	会 社 名	T T C （株）	
	所 在 地	〒 名古屋市名東区猪子石・・・	
	部 署 名		
	役 職 名		
	担 当 者 名		
	電 話		
	F A X		
	E-m a i l		
評価手数料請求先 (会社名のみ記入)			
請求書送付先 (連絡先と異なる場合のみ)			
申請受理年月日*	年 月 日	試 験 年 月 日*	年 月 日
受 付 番 号*		手 数 料 額*	

①申請者が法人の場合には、代表者の役職及び氏名を併せて記入してください。

②請求書送付先には必ず担当者名をご記入ください。

③*印のある欄は記入しないでください。

【様式建材申請書】

性能評価申請の概要

該 当 条 文	建築基準法施行令第20条の7第4項
商 品 名	
主 たる 用 途	

板状材料の場合

形 状	平板
表面の形状	平滑 エンボス その他（ ）
表面の塗装	
表面材	
厚 さ（mm）	〇〇（±〇〇）
大きさ（mm）	標準： 最大： 最小：
密 度（kg/m ³ ）	

塗料・接着剤の場合

塗料、接着剤	形 状	液状 その他（ ）
	固形分量（%）	
	塗布量（g/m ² ）	（製造時）
	膜厚（μm）	
	密度（kg/m ³ ）	

- ※ 厚さの決まっているものは、明確に記述してください。決まっていない場合は、範囲〇〇～〇〇で示してください。
- ※ ばらつきの数値に対しては公差を記入してください。（例 〇〇(±〇〇)）
- ※ 塗布量は、単位面積あたりの質量（g/m²）として記載してください。なお、製造時または固形量であるのかを明確にしてください。

【様式建材申請書】

申請仕様の材料構成

項目	申請仕様等																
(1)表面塗装	第 1 種、第 2 種及び第 3 種ホルムアルデヒド発散建築材料に該当しない次の塗料（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤のいずれも用いないもの）①、②で示す仕様のもの。（混合の場合は、混合比を質量％で記載） ① ○○○○系○○○○形塗料 規格 JIS A **** 《組成》（各組成の含量が 1 0 0 ％になる量） <table> <tr> <td>○○</td><td>50（±5）％</td></tr> <tr> <td>XXX</td><td>30（±5）％</td></tr> <tr> <td>△△</td><td>15（±10）％</td></tr> <tr> <td>・・・</td><td>5（±1）％</td></tr> </table> 塗布量：○○（±○○）kg/m² ② ○○○○系○○○○形塗料 規格 JIS A **** 《組成》（各組成の含量が 1 0 0 ％になる量） <table> <tr> <td>◎○</td><td>70（±5）％</td></tr> <tr> <td>XXX</td><td>10（±5）％</td></tr> <tr> <td>▲▲</td><td>15（±10）％</td></tr> <tr> <td>・・・</td><td>5（±1）％ 等</td></tr> </table> 塗布量（kg/m²）：○○（±○○）	○○	50（±5）％	XXX	30（±5）％	△△	15（±10）％	・・・	5（±1）％	◎○	70（±5）％	XXX	10（±5）％	▲▲	15（±10）％	・・・	5（±1）％ 等
○○	50（±5）％																
XXX	30（±5）％																
△△	15（±10）％																
・・・	5（±1）％																
◎○	70（±5）％																
XXX	10（±5）％																
▲▲	15（±10）％																
・・・	5（±1）％ 等																
(2)表面材	天然木 ・樹種および密度（kg/m³） (1) ○○(500（±50）) (2)XXX(530（±100）)																
(3) 表面材用接着剤	(例) 水性高分子ーイソシアネート系接着剤 F☆☆☆☆ (No.○○○) 《組成》（各組成の含量が 1 0 0 ％になる量） <table> <tr> <td>○○</td><td>50（±5）％</td></tr> <tr> <td>XXX</td><td>30（±5）％</td></tr> <tr> <td>△△</td><td>15（±10）％</td></tr> <tr> <td>・・・</td><td>5（±1）％</td></tr> </table> 塗布量：○○（±○○）kg/m²	○○	50（±5）％	XXX	30（±5）％	△△	15（±10）％	・・・	5（±1）％								
○○	50（±5）％																
XXX	30（±5）％																
△△	15（±10）％																
・・・	5（±1）％																

(4)基材	例：以下に示す使用のもの 天然木 ・樹種および密度 (kg/m³) (1) ○○(500 (±50)) (2)XXX (530 (±100)) 厚さ (mm)： ○○ (±○) 層数：○枚 単板厚さ (mm)： ○○ (±○) 接着剤： 例：メラミン樹脂系接着剤： 《組成》(各組成の含量が100%になる量) メラミン樹脂 ○○ (±○○) 質量% ○○○混和剤 ○○ (±○○) 質量% 規格 JIS A **** (登録 No.) 塗布量○○ (±○○) kg/m² (塗布時)
-------	---

※ **集成材**の場合は、必ず（１）基材、（２）接着剤を記載してください。

※ 個別製品の評価ではありませんので、商品名の記載はできません。品目名は一般名称にて記載してください。

※ 申請品の構成材料毎に、材料の構成内容が特定できるよう記載してください。

※ 各材料は、ホルムアルデヒド又はホルムアルデヒドを発生させるおそれのある材料（ホルムアルデヒド系材料）の有無に着目し、混入量を特定してください。

ホルムアルデヒド系材料：ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂、ホルムアルデヒド系防腐剤（接着剤の場合には、メチロール基含有モノマー及びロンガリット系触媒を含む）を含む材料。

※ホルムアルデヒド系の成分を含む材料については、材料構成を明らかにしてください。

【様式建材申請書】

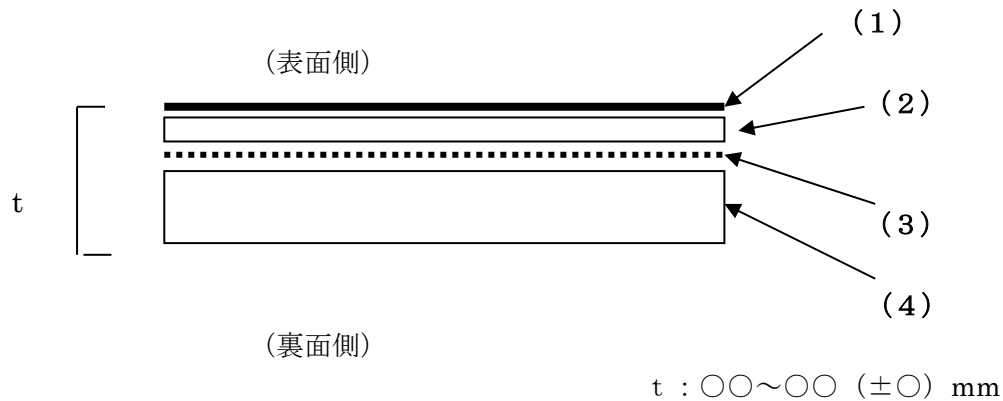
名称（建築材料名：表面側から区分して明記、塗料、接着剤の場合その名称）

名 称	合板フローリング
-----	----------

例：「表面側」（１）（試験体の化粧材/層）張/・（５）「裏面側」（試験体の化粧材/層）張/（２）「表側」（試験体の接着剤）塗・「裏側」（４）（試験体の接着剤）塗/（３）（基材）

申請仕様の断面図

申請仕様の断面図例を下図に示しますので参考にしてください。



断面図例

- ※ 断面図により、断面構成と厚さの関係がわかるよう図示してください。
- ※ 図面は、鮮明なものとしてください。
- ※ 表面側がわかるよう、図示をしてください。
- ※ 塗料、接着剤等塗布量で管理するものは、厚さを記載する必要はありません。
- ※ 材料説明及び構成材料の仕様書に記載された内容は、評価対象内容として引用する部分になりますので、対象材料を明確に特定できる記載としてください。
- ※ **集成材**は、ラミナーピッチ等を記入してください。特に、形状が把握できるように明確に図示してください。

このページは申請内容が決まってから
使用しますので記入不要。

【様式建材申請書】

申請仕様の説明資料

1. 形状・寸法等

(板状材料の場合)

項目	試験体	申請仕様	選定理由
形状			
表面の形状			
厚さ (mm)			
大きさ (mm)			
密度 (kg/m ³)			
質量 (kg/m ²)			

(塗料・接着剤等の場合)

項目	試験体	申請仕様	選定理由
形状			
塗布量			
比重 (kg/m ³)			

- ※ 担当者との打合せに基づき、申請仕様の各項目ごとに、申請仕様と試験体の対比とその試験体を選定した理由を記載してください。
- ※ 「項目」、「申請仕様」の欄は、材料説明及び構成材料の仕様書に記載した内容と同一としてください。
- ※ 試験体には範囲の記載はできません。
- ※ 試験体の採取状況の写真を添付してください。

2. 材料構成

このページは申請内容が決まってから
使用しますので記入不要。

項目	試験体	
(1)表面塗装		
(2)基材		
(3)接着剤		

担当者との打合せに基づき、申請仕様の各項目ごとに、申請仕様と試験体の対比を記載してください。
「項目」、「申請仕様」の欄は、材料説明及び構成材料の仕様書に記載した内容と同一としてください。

【様式建材申請書】

会社の営業概要

会 社 名	T T C (株)		
所 在 地	名古屋市名東区猪子石・・・・・・ (TEL) — —		
代 表 者 名	取締役社長 東海 太郎	設立年月日	年 月 日
資 本 金			
工 場 名	〇〇〇工場		
所 在 地	・・・・・・ (TEL) — —		
工 場 名			
所 在 地	(TEL) — —		
主要取引銀行	銀行 支店、	銀行 支店	
会社概要、その他関係資料 (J I S、I S O 9 0 0 0、1 4 0 0 0 取得等)、営業・施行実績等			
本仕様の 連絡先			
所 在 地	(TEL) — —		
担 当 者		部 課 名	
従 業 員 数		建築士数	人 (一級)
その他 有資格者数 建設業者 登録番号等			
大臣認定申請 をする理由 (JIS及びJAS外 品であることが 確認できる説明 及び資料)			

【様式建材申請書】

施 工 仕 様

施工手順

以下の順に当該仕様の施工方法を簡潔に記載してください。

また、
(例)

(1) 下 地

下地(壁の場合:間柱・胴縁、天井の場合:野縁)の寸法、間隔について記載してください。

(2) 加 工

現場での切断等があれば記載してください。

(3) 取り付け

釘打ち工法、接着工法、釘打ち接着併用工法等、取り付け方法について記載してください。

(4) 目 地

上記取り付けの際の目地仕様を記載してください(突き付け、目透かし、ジョイナー仕様等)

なお、当該品を建具又は襖に用いる場合には、その施工方法と併せて、その申請品が用いられる部位がわかるよう、断面図等にて示してください。

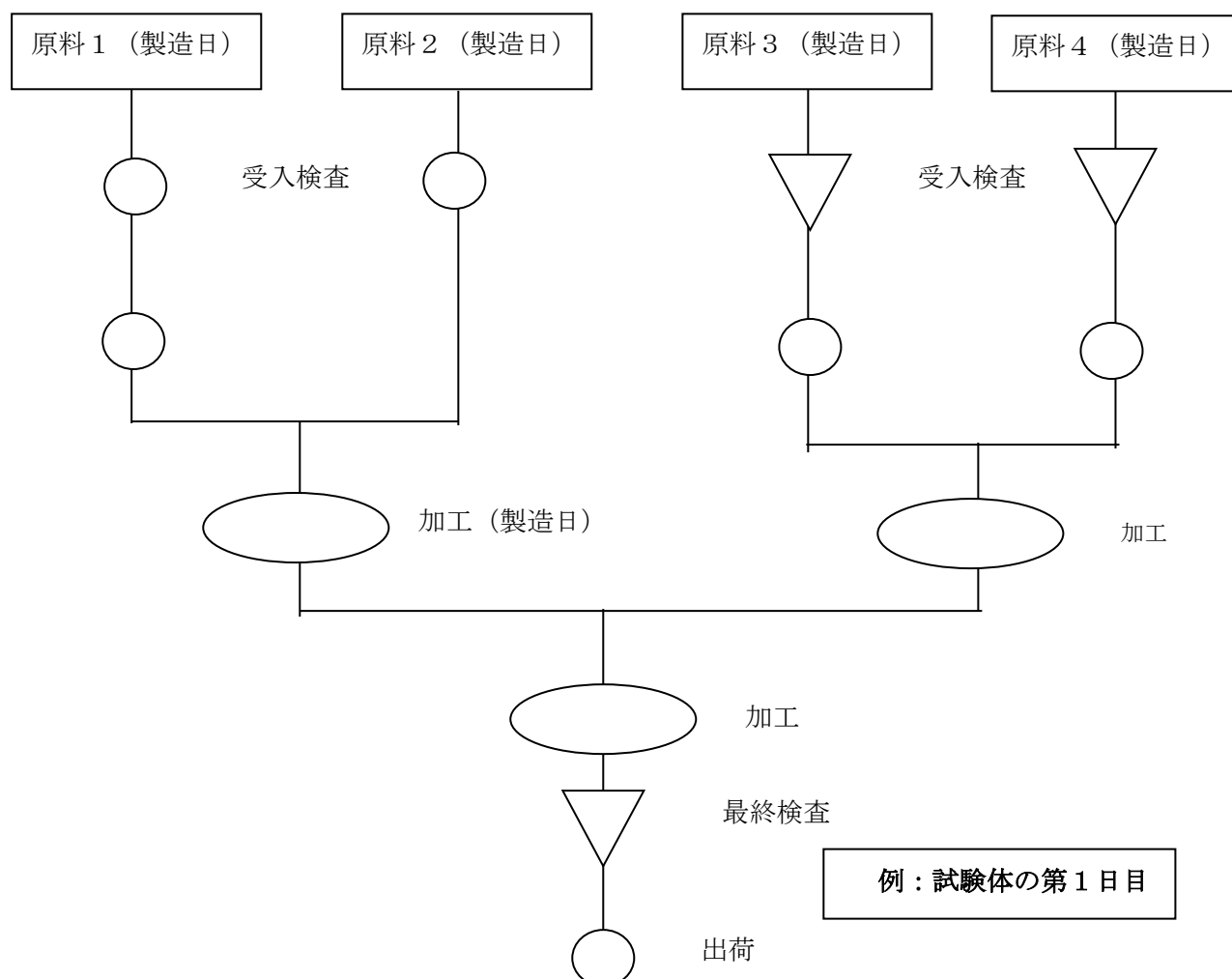
施 工 図

- ※ 施工図は、壁、天井、床等の用途毎に、斜視図等により明確にわかるよう示してください。
- ※ 施工図の記載内容は、施工方法にて記載された内容が、具体的にどのように行われるのかわかるように配慮をお願いします。
- ※ 申請仕様を建具に用いる場合には、建具のどの部分に用いられるか判別できるようにしてください。
- ※ 構成材料等の仕様・施工仕様を示してください。
- ※ ※図面は、鮮明なものとしてください。(写真可)

製造方法に関する資料

製造工程フロー等により、原材料の受入、貯蔵、加工・成型、検査、保管、出荷等、原材料の受け入れから出荷までの流れを詳細に示してください。

例：JIS 工場における作業工程図等



フローチャート（イメージ）

- ※ 上記はイメージ図です。別途作成してください。
- ※ 材料を組み合わせる場合には、個々の材料の製造日及び受入検査の説明を記入してください。
- ※ 各工程の管理基準値についても記載してください。
- ※ 試験体は、最終検査終了後 7 日以内に当財団に搬入していただきます。
- ※ 試験体（持ち込み試料）には、各工程の製造日を必ず記載してください。